

同窓会長就任のあいさつ 集い、語ろう



新潟県立新潟県央工業高等学校同窓会
会長 松縄 嘉彦 (S54 年卒 14 回生)

平素は、新潟県央工業高校同窓会と母校に対し、ご理解とご協力を賜り、同窓生並びに学校関係者の皆様には、厚くお礼申し上げます。

COVID-19 に端を発した騒擾は、私たちの想像を絶する速さで世界中を席捲し、今では世界中をリーマンショック以上といわれる不景気の渦に巻き込んでいます。

ものづくりの町と呼ばれるこの燕三条地域も否応なしにその影響を受け、6 月中旬に予定していた同窓会総会も政府の緊急事態宣言発令を受け、やむを得ず中止とさせていただきました。

ご承知の通り、母校は、1910 年 (明治 42 年) 9 月 3 日、郡立三条商工学校として認可され翌 1911 年 (明治 44 年) 4 月 15 日をもって郡立三条商工学校として開校されました。爾来、幾多の変遷を受け、2004 年 (平成 16 年) 新潟県央工業高校に改称され、来る 2023 年 (令和 5 年) には、創立 110 周年を迎えます。

そのような中、本来であれば 6 月の総会で承認いただくべきところ、前述した通り、予期せぬ事態に遭遇し、本来であれば総会時に承認いただくべきところ、本年 4 月 22 日開催の正・副会長会議、同 5 月 20 日実施の常任委員会書面表決をもって会長として承認いただき、誠に有り難うございました。

私は、家業でもあるハガネ屋の倅は重いものを持てるようにならなければと入学後ウエイトリフティング部の門を叩き、故中村節夫先生の指導のもと、プレハブ作りの道場での練習はもとより旧安塚高校牧分校や旧黒埼町体育館での夏合宿等、ウエイトリフティング競技を通し、授業以外でも沢山の経験を積ませていただきました、今でも毎年 1 月 3 日に三条ロイヤルホテルで開催される OB 会に参加し、旧交を温めております。

高校卒業後 10 年ほど三条を離れましたが、帰郷後、同窓会にお誘いいただき、梨本正實顧問を始めとする諸先輩方の薫陶を受けました。又、この地域の同窓生だけでなく、毎年 2 月下旬に開催される東京支部の総会では、若くして故郷を離れ、異郷の地で元気に活躍される先輩方と交流する機会を得、先輩方の故郷に対する熱き想いを感じています。

これからは 25,811 名の卒業生と 1,491 名の旧職員 (令和 2 年現在) を有する同窓会の代表として同窓会活動をより積極的に発信し、同窓会で『集い、語ろう』と毎年の開催を心待ちにしていただけよう、精一杯責務を果たしていく所存です。

最後に同窓会と母校並びに関係者が益々発展されることを祈念し、就任の挨拶とさせていただきます。

令和 2 年 6 月 吉日

まつなわ よしひこ

松縄 嘉彦

昭和 36 年 3 月 10 日生 三条市南新保在住

昭和 54 年三条工業高校機械科卒 ウェイトリフティング部 OB
株式会社松縄文五郎商店 代表取締役社長

同窓会役職歴

平成 16 年 12 月 16 日の常任委員会創設とともに常任委員就任

平成 22 年 12 月 6 日開催の常任委員会から副会長就任

平成 27 年 11 月 20 日開催の常任委員会から常任委員長就任

令和 2 年 5 月 21 日から第 9 代同窓会長就任

会長選考の経過について

①令和元年9月13日（金）正副会長会議で梨本会長が退任表明

梨本会長から「卒業直後から評議員をはじめとして役員を52年間務めてきた。この任期をもって新しい人材に代わりたい。副会長の皆さんには引き続きお努めいただき新会長を支えていただきたい。」との表明がありました。

②会長選考会議の総意で松縄常任委員長を推薦

会長の意志が固いため、正副会長会議を選考委員会に切り替えて、年長の牛腸盛治副会長を委員長に選出して協議し、選考委員会の総意として次期会長に松縄嘉彦常任委員長を推薦することになりました。

③令和元年11月13日（水）常任委員会で全会一致で承認

会則第6条で、会長は「常任委員会で選出して総会の承認を得る。」と規定されていることから、上記の選考委員会設置の経過と選考委員会報告について承認を求め、全会一致で承認されました。

④令和2年4月22日（水）正副会長会議で書面表決を実施へ

令和2年5月に常任委員会を開催した後、6月の総会で承認を得る運びでしたが感染防止対応が必要な事態となり、正副会長会議で協議の結果、今季常任委員会と今年度総会を開催せず、常任委員による書面表決によって総会の承認に替えることとしました。

⑤令和2年5月20日（水）常任委員による表決で全員の賛成で承認

表決に参加した常任委員全員の賛成によって松縄新会長が承認されました。